

# 簡 単 操 作 ガ イ ド

## カードプリンター

### 『宛名 Pro-1』から『ImageCreate SE』へ データベースの移行手順

対象ソフト: ImageCreate SE

#### 概 要

宛名 Pro-1 から「ImageCreate SE」へデータベースを移行し、データベースの差し込み設定を行う手順をご案内いたします。

#### 【移行手順】

- ① 宛名 Pro-1 からこれまで使用していた住所録ファイルを取り出す(エクスポート)
- ② ImageCreate SE に CSV ファイルを取り込む(インポート)

本書は宛名 Pro-1 Ver1.3、筆まめ Ver.20 を使用して記載されているため、ソフトウェアのバージョンが異なる場合、操作に若干の違いがあります。

#### 【注意事項】

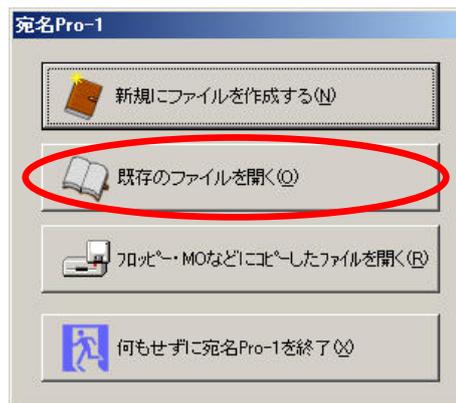
- ・ 宛名 Pro-1 をハガキや封筒への宛名印字用途で使用していた場合

ImageCreate SE はハガキや封筒への印刷は可能ですが、カスタマーバーコードや郵便番号から住所を検索する機能などがありません。

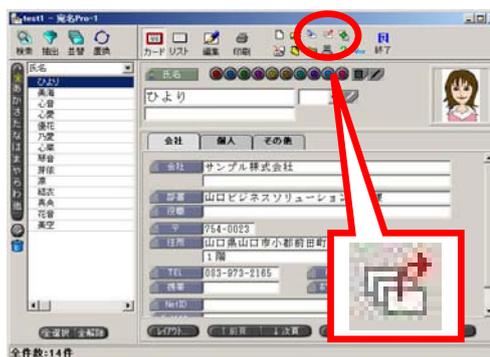
宛名印刷用途で使用する場合は「筆まめ」への移行をお勧めします。

## 1 宛名 Pro-1 からこれまで使用していた住所録ファイルを取り出す(エクスポート)

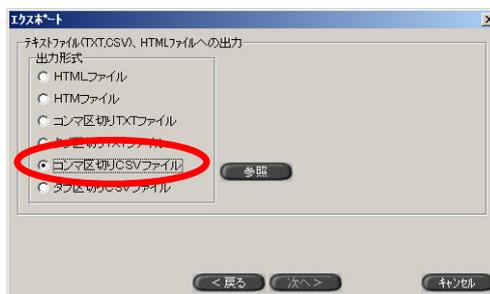
- 宛名 Pro-1 を起動し、移行したい住所録ファイルを開きます。



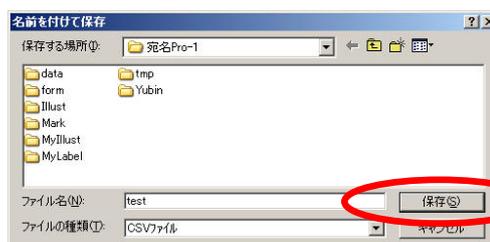
- [エクスポート]アイコンをクリックします。



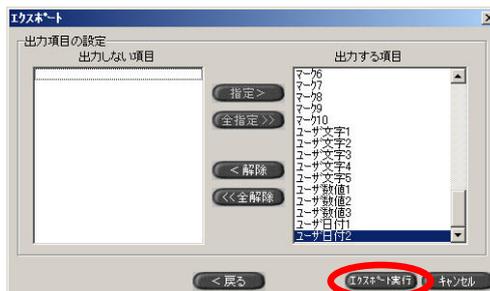
- 「コンマ区切り CSV ファイル」を選択します。



- 任意のファイル名を入力して、[保存]ボタンをクリックします。

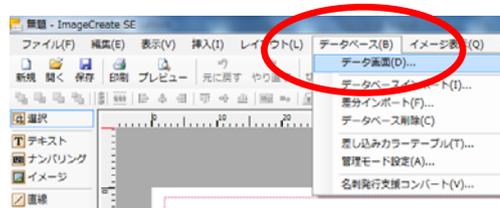
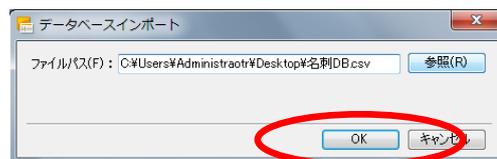
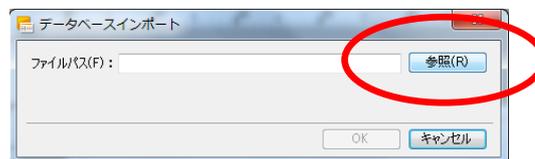
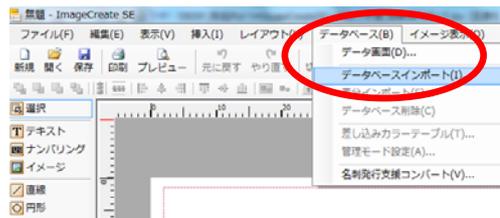


- ウィザードに従って、取り出したい項目を選択し、[エクスポート実行]ボタンをクリックすると、住所録ファイルを取り出すことができます。但し、宛名 Pro-1 で差込印刷設定していた画像ファイルはエクスポートできませんので、ご注意ください。



## 2 ImageCreate SE に CSV ファイルを取り込む(インポート)

1. ImageCreate SE を起動し、[データベース]から[データベースインポート]をクリックします。
2. [参照]ボタンをクリックし、宛名 Pro-1 からエクスポートした CSV ファイルを指定します。
3. [OK]ボタンをクリックします。
4. [データベース]から[データ画面]をクリックします。
5. [データベース編集画面]で宛名 Pro-1 からエクスポートしたデータがインポートされていることを確認します。



以上で、CSV ファイルのインポートが終了しました。

### 補足 ImageCreate SE で画像を差し込み設定するには

ImageCreate SE では、宛名 Pro-1 と同様に画像を差し込み印刷することが可能です。

詳細は、ImageCreate SE のユーザーズガイド「[データベースを活用した名刺の作成](#)」をご覧ください。

## お客様相談センター

## 全国共通電話番号

**050-555-90064**

受付時間 [平日]: 9:00~17:00

(土・日・祝祭日と年末年始、弊社休業日は休ませて頂きます)

### お問い合わせの前に

- 海外からご利用の方、または 050 からはじまる IP 電話番号をご利用いただけない方は 042-460-9561 をご利用ください。
- 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## 簡単操作ガイド

### 『宛名 Pro-1』から『ImageCreate SE』へデータベースの移行手順

履歴 : 2017 年 3 月版

制作/著作 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社

#### <商標について>

※Microsoft、Windows、および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

※筆まめは株式会社筆まめの登録商標または商標です。

※その他、カタログに記載されている会社名、商品名は一般に各社の商標または登録商標です。